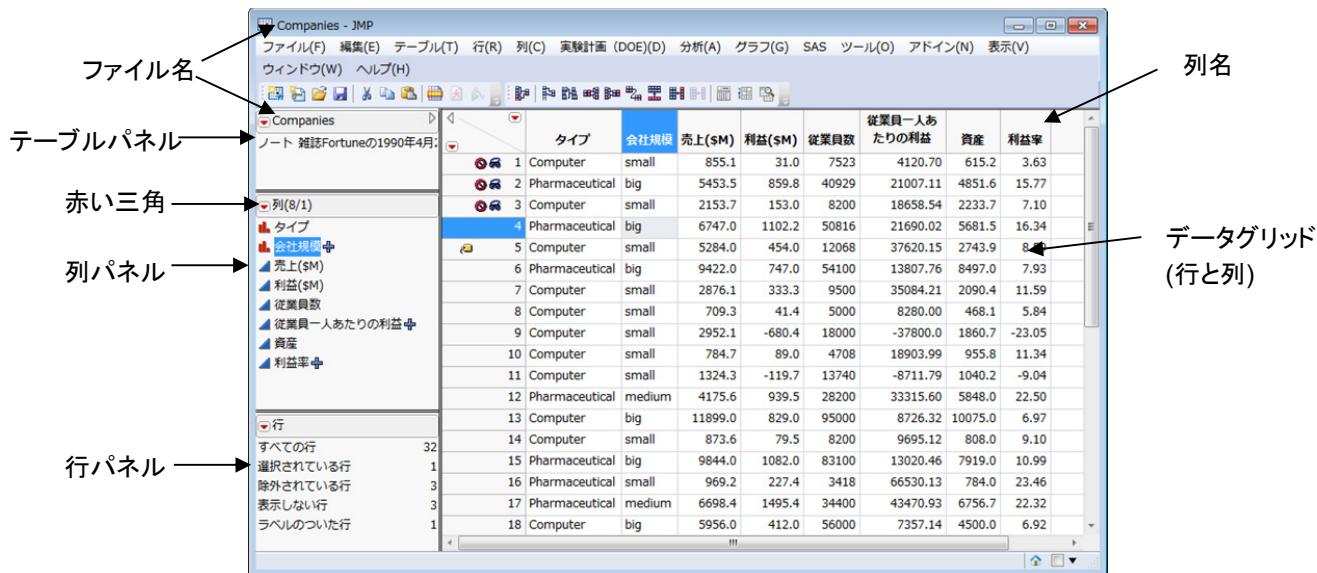


JMP® データテーブル

このページでは、JMP データテーブルの各部の名称やデータテーブルに含まれている情報を紹介しています。

メニューからファイル > 開く を選択し、JMP データテーブルを開きます。JMP のサンプルデータを開くには、

ヘルプ > サンプルデータ を選択します。以下はサンプルデータのひとつである **Companies.jmp** ファイルの一部です。



テーブルパネル

- データテーブル名
- データ変数やテーブルスクリプトのリスト

- テーブル変数やスクリプトをダブルクリックすると表示や編集ができます。

列パネル

- 列の数
- 選択されている列の数
- 列名
- 列の尺度
- 列プロパティ

- このデータテーブルには 8 つの列があり、そのうち 1 つの列が選択されています。
- 名義尺度の列(赤い棒グラフのアイコン)が 2 つあります。
- 連続尺度の列(青い三角のアイコン)が 6 つあります。
- 順序尺度の列(緑の棒グラフのアイコン)はありません。
- 計算式の設定されている列(プラス記号のアイコン、これをクリックすると計算式が表示されます)が 3 つあります。

行パネル

- 行の数
- 選択されている行の数
- 非表示の行の数(マスクのアイコン)
- 除外されている行の数(円に車線が入ったアイコン)
- ラベルを表示する行の数(タグのアイコン)

- このデータテーブルには 32 の行(オブザベーション)があります。
- 選択されている行が 1 つあります(4 行目)。
- 除外および非表示となっている行が 3 つあります(1-3 行目)。
- 非表示の行はグラフに表示されません。
- 除外されている行はほとんどの統計量の計算に含まれなくなります。
- ラベルを表示する行が 1 つあります(5 行目)

注意: 赤い三角は JMP の他のウィンドウでも表示され、そこからオプションを選択できるようになっています。グレーの三角は表示を閉じたり開いたりするときに使用します。データテーブルやグラフで右クリックすることでも追加のオプションを選択できます。より詳しい情報については、はじめての JMP マニュアル(ヘルプ > ドキュメンテーション の中)を参照してください。